



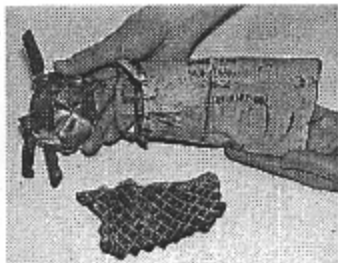
元ジュネーブ軍縮大使

猪口 邦子さん

いのぐち・くにこ 52年生まれ。衆議院議員・元上智大教授(国際政治学)。



小型武器=A.P



クラスター爆弾

小型武器・クラスター爆弾規制

きょうの予習

ドイツ・G8サミットが来月に迫り、来年は日本が開催国となります。

「G8は、世界が共通して関心をもつ環境、アフリカなどの問題を扱うとともに、日本ならではのテーマを提示できる場だ。日本は軍縮・不拡散のテーマでこそ国際社会の代弁者になれる」

日本には説得力

なぜ軍縮ですか。

「国際社会では、最も苦しんだ人たちこそ、その分野で声を上げるべきだと考えられ、その発言は実際、重みをもって受け止められる。人種差別問題ならば、南アフリカの代表が発言すればだれもが聞く。日本は

広島・長崎の被爆経験を抱き、そこから平和国家として発展をとげた国だと見られている」

「通常兵器についても、日本は武器輸出三原則のもとで他国に武器を売らず、武器を輸出してきた大国と一線を画してきた。日本が言えば、むげに席は立たない。いやいやでも世界が耳を傾けてくれる分野が軍

- 01年7月 通常兵器軍縮をめぐり、G8サミットで、非合法兵器の輸出を禁止する「オスロ宣言」が採択された。
- 06年12月 国連総会が武器貿易条約(ATI)の形成に向けて議論を開始すると決めた。日本は共同提案国の一つ。反対は米国のみ。
- 07年2月 ノルウェー主催の国際会議で、46カ国がクラスター爆弾禁止条約の締結を目指す「オスロ宣言」が採択された。日本は会議に参加したが宣言は留保。
- 07年3月 小型武器をめぐり、政府が東京ワークショップを主催し18カ国参加。
- 07年5月 ペルー・リマでオスロプロセスの第2回国際会議。
- 07年6月 ドイツでG8サミット。
- 07年6月 国連特定通常兵器使用禁止・制限条約(CCW)の会合でクラスター爆弾の規制を議論。日本でG8サミット開催。
- 08年

拡散防止の議論参加を合法的兵器も抑制必要

縮なのだ。相反する利益があるなかで、かろうじて合意を形成していくには、このような立場の日本の軍縮への姿勢は極めて重要だ」

「国際的な課題として、国連のミレニアム開発目標では開発途上国の貧困、教育、環境などの課題が挙がっています。それらの問題は、軍縮が未達成であるという現実と複雑に連鎖している。例えば子ども兵士の問題とそ

「国連は小型武器で世界で年間50万人が犠牲になっていると推計しているが、03年に私が議長を務めた国連小型武器中間会合以降も、被害者数を抑えられていない。小型武器は、主要国の戦略バランスに影響がなく、テロや組織犯罪など関連する問題の複雑さもある。国連のプロセスが始まったのは01年からだ。この年に国連小型武器行動計画ができた。加盟国は実施する大きな責任を負うが、法的拘束力はない」

「一方、武器の移転を規制する武器貿易条約を作るための議論も国連で始まりました。『国連の全加盟国がこの問題への見解を提出することになっている。英国が推進しており、日本も積極的に寄与すべきだ。非合法的兵器の拡散防止は、大国の利益にも反しない』

「現在、国家間で考えられているのは、非国家のテロ・犯罪組織にいかにか武器が渡らないようにするかだが、国家保有の武器の絶対量が増えれば、非合法的な勢力に流出する可能性も高まる。合法的兵器の量を抑えることについても発言していくべきだ」

「非人道性が問題になっているのはクラスター爆弾の禁止を目指し、ノルウェーなどが主導する「オスロプロセス」が動き出しました。23日からペルー・リマで会議が開かれ、日本の対応が注目されます。『有志国外交か、全加盟国が入る締約国会議の場を使うか、の選択だろう。対人地雷では有志国でつくった全面禁止条約(オタワ条約)に日本も加入した。クラスター爆弾については、特定通常兵器使用禁止・制限条約(CCW)の会合ですでに協議入りに合意しており、まずここで対応すべきだと思う。もっともオスロプロセスはCCWの議論への圧力として有効だ」

「2月の同プロセス初会議で、日本は禁止条約を目指す宣言を支持せず、議長を失望させました。『まずは日本が会議に出席したこと自体を評価した方がいい。米国、ロシア、中国など参加していない国も多い。禁止したら安全保障上どんな制約があるか、軍事的に執着する必要性はあるかなど、首相官邸、外務省、防衛省など政府挙げて議論すべき課題だ。オスロプロセスは禁止条約の締結の期限を来年末に設定しており、その意味でも来年のG8での日本の軍縮外交が問われる』

「今年の開催国ドイツは、メルケル首相がさまざまな場で環境問題を打ち出し、議論の土台を作ってきた。日本も今から発信しないと間に合わない。日本学術会議では、私が呼びかけ、今年のテーマの一つとして軍縮・不拡散問題に取り組む努力をしている。学問領域を超えた取り組みと協力なしにはなしえない課題だからだ。国会でもそうだが、一人ひとりに何ができるかが大事。政府は会議が開かれる北海道に軍縮の旗を立てる気持ちで臨んでほしい」

「聞き手・井田香奈子」

「聞き手・井田香奈子」

「聞き手・井田香奈子」